

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年4月26日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	高野 由美子

1.開催日時	2023年4月14日	(金)	19:30	～	21:00
2.会場	オンライン				
3.主催センター	鶴川1	・	鶴川2	・	
4.参加人数	29人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 8人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 7人 (うち、医師 人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 11人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input type="checkbox"/> 行政 人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (医薬卸1人)				
6.開催テーマ	2023年度地域ケア推進会議「(仮)BCPや災害時の対応について」の進め方について				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>				
8.会議の内容	<p>○確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レッツケア会議第10号発刊報告 ・フレイル予防リーフレット・レシピ設置状況報告、栄養部会について <p>○今年度の地域ケア推進会議のテーマ「(仮)災害時に地域高齢者をどう守るか？」について協議</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町田市の災害時の対応についての状況共有 ②各事業所のBCP策定についての状況共有 ③介護保険事業所から安否確認名簿についての相談 ④今後の話し合いの方向性についての相談 				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・②③の中で利用者の安否確認を行うにあたり、各事業所が作成しているリスト項目の共通化を図り、安否確認作業の効率化を考える。 ・災害時対応における鶴川圏域の取り組み、問題点、を三師会の先生方にお話頂くため、救急救護活動拠点への医療従事者の配置体制の確立をされている薬剤師会瀬谷薬剤師と今後の方向性について相談する。 ・連携体制構築を進めるため、地域と医療と介護の災害時の取り組みの現状について知る。 				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

4月 25日